

調査団体名	海上の森モニタリングサイト1000調査の会	団体代表者名	曾我部行子
活動地域	瀬戸市 海上の森	団体URL	http://www.biodic.go.jp/moni1000/ (環境省生物多様性センター モニタリングサイト1000のHP)
<p><活動内容></p> <p>環境省は、日本列島の多様な生態系の基礎的な環境情報の収集を継続的に行うこととして、100年以上の長期的生態系観測態勢「モニタリングサイト1000」を展開しており、海上の森は里地調査のコアサイトとして登録されている。その実施主体が「海上の森モニタリングサイト1000調査の会」であり、2008年4月より活動を開始した。全国統一ルールによるマニュアルに基づき長期的に調査が継続されることを重要としており、海上の森の調査項目は、植物、鳥類、哺乳類、チョウ、ホタルとしているが、今後は水環境、人為的インパクト調査についても導入を検討している。</p> <p>モニタリングサイト1000の調査を通じて、チョウと植生の関係についてそのつながりが意識されたり、吉田川の上下流でホタルの発生時期が2週間ほど異なるなど、新たな発見も多いという。</p>			
<p><連携している団体・専門家・自治体など></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「海上の森の会」自然環境調査グループのメンバーが主体ではあるが別組織である。 ○哺乳類調査においては、「あいち海上の森センター」(愛知県農林水産部)が分担することで体制を整える。 ○ホタル調査については「山口ホタルの会」(主体)と連携。 			
<p><今までに行った調査・研究></p> <ul style="list-style-type: none"> ○海上の森の植物・鳥類・チョウ・哺乳類調査(2008～) ○ホタル調査は2009年度より開始予定 ○調査にあたって各調査項目講習会開催 			
<p><現在直面している課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○調査員が高齢化しており、今後の人材確保が重要。 ○愛知県の海上の森センターには哺乳類調査を分担してもらっているが、モニタリングサイト1000そのものと直接結びついているわけではなく、森林管理の問題を含め全般的な連携が課題となる。 ○調査結果を各セクターが共有し、保全に向けた議論や取り組みを実施する場が欠けている。 			
<p><今後どんな情報が必要か></p> <ul style="list-style-type: none"> ○海上の森に関する全般的な情報 ○万博アセス等、実施前後に行われた様々な調査データ <p>日本自然保護協会の吉田正人氏は、かつてこれほど調査された里山はないと述べており、その貴重なデータを共有、利用できる体制を望む。</p>			
			
<p>チョウ類調査中のメンバー</p>			